

経済建設委員会会議録

平成24年6月12日

10時45分

開会

10時56分

閉会

網走市議会

午前 10 時 45 分 開会

○佐々木委員長

ただいまより経済建設委員会を開会いたします。

本日の委員会ですが、先ほど付託をされました議案 3 件について審査をいただきます。

議案 3 件につきましては関連がありますので、議案第 10 号、11 号、12 号、3 件を一括して説明をまず受けたいと思います。

○松浦建築課長

それでは、網走市麦類乾燥調製貯蔵施設増設工事に係るプラント工事及び建築の 1 工区、2 工区の請負契約の締結について説明させていただきます。

議案並びに議案資料の 1 号から 3 号までをあわせてごらんいただきたいと思います。

まず、契約の内容でございます。

資料 1 号の網走市麦類乾燥調製貯蔵施設増設のプラント工事ではありますが、入札執行日は平成 24 年 6 月 6 日に一般競争入札にて実施されました。落札業者の北斗工機株式会社と 20 億 8,635 万円にて契約を行おうとするものであります。工事完了予定日は、来年、平成 25 年 2 月 28 日となっております。

続きまして、資料 2 号の網走市麦類乾燥調製貯蔵施設増設の建築の第 1 工区であります。落札業者の丸田・土屋・塩川特定建設工事共同企業体と 6 億 3,315 万円で契約を行おうとするものです。

続きまして、資料 3 号、同じく建築工事の第 2 工区ではありますが、落札業者の早水・北斗特定建設工事共同企業体と 5 億 3,025 万円にて契約を行おうとするものでございます。

続きまして、工事の概要であります。

現在、網走市字東網走 102 番地ほかにあります麦類乾燥調製貯蔵施設の東側に増設をするものでございます。

プラント工事の内容としましては、乾燥調製設備、それからサイロ、貯留ビンほかであります。

それから、建築工事の第 1 工区につきましては、鉄骨造の 2 階建て、2,159.65 平米の乾燥棟のうち、1,384.84 平米の分の基礎上屋工事等になります。

それから、建築の第 2 工区ではありますが、乾燥棟の残り 774.81 平米のほか、記載の内容のとおりでございます。

なお、別冊の図面資料にて、建築区構造、タンク分け、それからプラント工事の概要図を示してありますので、あわせてごらんいただきたいと思います。

以上です。

○佐々木委員長

皆さんのほうから質問等ございますか。

○平賀委員

それぞれ確認をさせていただきたいと思います。

一般競争入札ということですので、それぞれ何社ぐらいの企業もしくは共同企業体に参加されて、落札率というのはどのぐらいに今回なったのかということを伺います。

○松浦建築課長

まず、建築の第 1 工区、第 2 工区であります。網走市の A 業者、それから、北海道の A で、網走市で仕事をされているといった中で、一般競争入札の公募をしたところでございます。それを受けましてエントリーされた企業体というのが 8 社でございました。

それから、プラント工事につきましては、今までに同規模の工事をやった実績のあるというような形で公募をいたしました。3 社のエントリーがございました。

落札率につきましては、約 98% ということでございます。

以上です。

○佐々木委員長

確認ということでよろしいですね。

そのほか。

○近藤委員

この増設工事のお話が出たときに、分割発注をして、なるべく多くの業者さんが仕事にかかわれるようにというお話だったと思うのですが、今回、この工区分けの根拠みたいなのがあれば示していただきたいのですが。

○松浦建築課長

まず、プラント工事につきましては、中のプラントの部分丸々ということでございます。

建築工事につきましては、建物としてはつながってはきていますが、構造的に工事の分割のしやすいところで、まず一つ分けました。それが第 1 工区の図面に、右側の点線がついている部分が第 1 工区です。

そのほかに、先ほども見ていただきましたが、ずれた棟の増築だとか、いろいろあるもののですから、その残りを第2工区とさせていただきます。

以上です。

○佐々木委員長

そのほかございますか。よろしいでしょうか。

○栗田副委員長

確認なのですが、Aクラス指定ということで、こういう状況になろうかなと思うのですけれども、問題は、これだけ大きな事業で、プラントの部分についてはしょうがないというのは、これはもうしょうがない部分で、一番大きい部分なのですが、20億円は専門業者がやらざるを得ないし、これに関しては、多分地元のかかわる部分というのがどこにもないのかなという気がします。工事部分については、各企業、網走でいう大手が5社、それぞれお越しになったということなので、近年、非常に公共事業が減少している中で、民間の、特に下請の皆さんが大変苦勞されて、本当に瀕死の状態であるというのは知っていらっしゃると思うのですが、そういう意味からすると、この部分の下請、元請はこういうジョイントで入ってくるけれども、下請の皆さんにどのように血液が回っているのかなと、指導等はどのようにしているのかということをお伺いしたいのですが。

○松浦建築課長

この工事の以前に、市として網走市の発注については、地元業者、地元商社を使うよう、常にそういう指導をしてまいりました。これは建設業全体ということでやっております。

なおかつ、建築につきましては、ほとんどが下請業者です。元請があって下請があるという形の中で、下請の選定通知という形で毎工事ごとに通知させていただいているので、その中で、地元の業者を使っているかどうかという形で確認させていただいています。

この工事につきましては、御承知のとおり、プラント以外につきましては器が大きいということでもあります。1工区につきましては、2工区も似たような構成比率なのですが、鉄骨工事が約半分にになります。それから、外側をそっくり板金、鉄板貼り付けですね。それに、あとはくい工事というのがありまして、合わせて9割ぐらいが私どもが使っています外注工事に該当するものです。そ

ういうことになりますと、地元でやれる業者がま
ずないということになります。

ですので、先ほど説明させていただきましたけれども、地元商社を使って、経由して下請を使うような形の指導を行っております。

今回の工事で実際に地元業者が参加できるということ、大体細かい工事を除けば、型枠工事とか生コン、作業という形が主なものになるかと思いますが、金額的には大きいです。直接下請の方を使われる業者というのもあまりないというのが現実です。

以上です。

○栗田副委員長

一定の理解はしました。

問題は、きちっと完成までの間にそれが履行されていくかということが非常に大事なのです。今回の場合は、本来はJ A単独の事業なのです。市がこういう形で、いろんな補助金とか対象の中で、市が主体事業者になってやったという形の中、その意味を考えると、市がしっかりと完成まで責任を持って監督をしていくということが非常に大切なので、ややもすると、どこかでコスト優先になってしまって、地元でしっかりかんでいけないという。これからどんどん、本当に少ない中の大切な仕事なので、地元としては非常にありがたい仕事なので、それを、なるべく多くの人たちが利益を共有できるようなシステムというか、指導をちゃんとやっていただきたいなということを切にお願いして、この件は終わります。

○佐々木委員長

そのほか、質問ございますか。

(「なし」の声あり)

○佐々木委員長

ないようですので、議案第10号、11号、12号、この3件につきまして、全会一致をもって原案可決すべきものと決定いたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○佐々木委員長

そのほか、理事者から発言ございますか。

(「なし」の声あり)

○佐々木委員長

委員のほうから何かございますか。

(「なし」の声あり)

○佐々木委員長

それでは、以上で経済建設委員会を終了いたします。

午前 10 時 56 分 閉会